

本学会誌の83号「科学技術と国際政治」が刊行されたのは1986年、それからすでに四半世紀が過ぎた。IT(情報技術)に限れば113号「マルチメディア時代の国際政治」(1996年)があるが、それも十数年前である。この間、科学技術は言うまでもなく日進月歩の進化を続け、科学技術と国際関係・外交との結びつきも、おそらくは新しく複雑な形で、ますます顕在化してきたといえるだろう。

本特集は、大げさに言えば四半世紀ぶりに、科学技術と現代国際関係の多面的なダイナミクスに取り組む論考を集めるために企画された。そのような研究は、これまでも学会報告や独立論文のなかにしばしば見られ、このテーマに対する会員諸氏の関心は非常に高いと思われる。意欲的な研究を分野横断的に集成し、科学技術の国際政治学の最先端を構築するとともに、広く国際政治研究の全体にも示唆に富む特集をめざしたい。

本特集でいう「科学技術」とは、IT、生命科学、ナノテク、宇宙、軍事技術などの特定分野はもとより、知的財産、技術援助、環境・エネルギー、イノベーション、科学技術人材の国際移動、ハイテク分野の国際貿易などの問題を含めた広い意味でとらえることとする。それにより、多様な視角から、グローバルな競争と協調、国家と市場の関係、軍事と経済の相互作用、ハード/ソフトパワーの変容、経済発展、民主化、人道的・規範的な問題など、現代国際関係の基層をなす問題群に関心を向けた論考を期待したい。

また、理論的な国際政治経済学や安全保障研究からだけでなく、「現代」「国際」関係への示唆が明示されていれば、歴史的アプローチや地域研究アプローチによる論考も歓迎したい。

論文の応募を希望される会員は、論文のテーマと要旨を600~800字程度にまとめ、自宅および勤務先の住所・電話・FAX・メールアドレスを明記した上で、2013年8月31日(期限厳守)までに下記の編集責任者にメールでお送りください。テーマとの関係、本特集号の全体の構成など総合的に検討した上で、執筆をお願いする方には2013年9月30日までに連絡いたします。論文提出の最終締切は2014年5月31日、論文の分量は注を含めて2万字以内とします。ご提出いただいた論文は、2名以上の匿名査読者による査読の対象となります。査読後に修正をお願いする場合がありますこと、また最終的な掲載の可否は査読後に決定することを、ご了承ください。

執筆要領については学会ホームページをご参照ください。要領を遵守してのご執筆をお願いいたします。

<http://jair.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/documents/shippitsuyoryo.pdf>

お申し込みやお問い合わせは、以下の編集責任者までお願いいたします。

《編集責任者》 山田 敦

《連絡先》 〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学法学部

電話・FAX：042-580-8752（直通）

e-mail：ats.ymd★r.hit-u.ac.jp

（★を@に置き換えてください）

---